

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

なると未来づくり計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

徳島県鳴門市

3 地域再生計画の区域

徳島県鳴門市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1995年の64,923人をピークに減少、2015年の国勢調査では59,101人まで落ち込んでおり、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には43,290人になると推計されています。

人口動態をみると、本市の合計特出生率は低下傾向にあり、出生数が減少、死亡者数が増加し、5年間で自然増減が平均約460人減少しています。社会増減は、転入数が減少、転出数が増加し、平均約300人減少しており、増加傾向にある県内市町村への転出超過は、約70%以上が20～30代の若い世代、特に20代女性です。

このように、本市の人口減少は、20～30代の女性人口の減少や未婚化・晩婚化に伴う出生数の低下、高齢化による死亡数の増加による自然減、進学や就職を機会とした県内市町村等への若い世代の転出超過による社会減が原因と考えられます。

このまま人口減少が進めば、将来的に、民間の生活関連サービスや地域交通は縮小して行き、生活利便性の低下が進むと同時に、社会インフラの老朽化、空き家・空き地の増加や地域行事の廃止などにより、本市の魅力が大きく損なわれる恐れがあります。

これらの課題に対応するため、次の事項を本計画の基本目標に掲げ、若い世代に重点を置く施策、子育て環境や教育環境の充実、長期的なまちづくりの視点に

よる人材育成の重要性を鑑み、未来を担う若い人材を着実に育て、子どもたちが将来大きく羽ばたけるような環境を構築します。

- ・基本目標1 「ひと」を育てる：魅力的な人材が育つまち
- ・基本目標2 「しごと」をつくる：若者が働きたいと思う仕事があるまち
- ・基本目標3 「まち」がにぎわう：若い世代が住みたいと思うまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	出生数(累計)	1,520	1,531	基本目標①
ア	合計特殊出生率	1.23	1.3	基本目標①
イ	将来、鳴門市で働きたいと 思う高校生の割合	10%	20%	基本目標②
ウ	社会増減人口	△505	△128	基本目標③

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

なると未来づくり計画

ア 「ひと」を育てる(魅力的な人材が育つまち)事業

イ 「しごと」をつくる(若者が働きたいと思う仕事があるまち)事業

ウ 「まち」がにぎわう(若い世代が住みたいと思うまち)事業

② 事業の内容

ア 「ひと」を育てる（魅力的な人材が育つまち）事業

結婚・妊娠・出産・子育てまでを切れ目なく支援することで若い世代が子育てしやすい環境をつくとともに、鳴門の未来を担う子どもたちの人材育成として、行政と大学による連携を強化した学力向上への取り組みや語学力・情報活用能力の育成、学校施設整備、就学前教育・保育の充実、幼少期からの体力向上などを推進し、地域の自然や産業を学ぶ中で、地域の人と関わりながら鳴門への愛着を育む機会を創出する事業。

【具体的な事業】

- ・婚活支援事業
- ・KOBA 式☆体幹バランストレーニング普及推進事業
- ・鳴門市の未来を担う人材育成事業 等

イ 「しごと」をつくる（若者が働きたいと思う仕事があるまち）事業

若い世代が、結婚・出産・子育てを安心してできるように、経済的な自立や安定につながるよう就業支援を実施するとともに、鳴門の地場産品や地場産業の活性化につながる新たな産業の創出や創業支援、また企業誘致に取り組み、雇用や労働環境を整える事業。

【具体的な事業】

- ・企業誘致推進事業
- ・市内企業おしごと体験事業
- ・連携型の六次化（産直市・道の駅との連携）事業 等

ウ 「まち」がにぎわう（若い世代が住みたいと思うまち）事業

鳴門の強みを最大限に活かし、インバウンド誘客や地域の特性を活かした観光振興、道の駅整備をはじめとする四国のゲートウェイ推進、移住相談窓口を利用した移住支援などを実施し、市の魅力を県内外にPRすることで、さらなる交流人口拡大を図るとともに、地域の活力を向上することで、まちの賑わいの創出や安全安心に日常生活を営むことができる「住みたい・住み続けたいまち」鳴門をつくる事業。

【具体的な事業】

- ・インバウンド誘客推進事業
- ・スポーツ大会・合宿誘致推進事業

- ・ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業
- ・四国のゲートウェイ推進事業 等

※なお、詳細はなると未来づくり総合戦略2020のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

200,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃に、外部有識者により構成する鳴門市総合戦略評価委員会において、数値目標及び具体的な施策に係る重要業績評価指標（KPI）の達成度等を検証し、その評価結果については、本市公式ウェブサイトにて公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで